

みなとぴあボランティアレター 第38号

新潟市歴史博物館 みなとぴあ／2019.3

2018年度後半の活動を振り返ります！

12/6 ボランティア交流会 in 江南区郷土資料館

2018年12月6日（木）に、ボランティア交流会を行いました。このボランティア交流会は、新潟市内の資料館・博物館のボランティア同士が交流し、意見交換することで、今後よりよい活動ができるようにと開催されたもので、今年で4回目になります。今回は、江南区郷土資料館さんに会場を提供していただき、普段のボランティア活動の様子を見学させていただきました。

交流会では、最初に江南区郷土資料館内をボランティアの方にご案内いただきました。江南区郷土資料館は、平成24年に開館した江南区文化会館の中にある資料館です。主に、考古資料や民具、写真などで江南区の歴史を紹介しています。ご案内いただく中で特に印象に残ったのは、ボランティアが段ボールで再現した竈などが展示されていたことです。これは、ボランティアが電気屋さんなどで段ボールなどを収集し、現物を参考にしながら制作したもので、自主活動の一つのことでした。この話を聞いた他館のボランティアからは、「お客さんにも触ってもらえるから良い」「自分たちもやってみたい」などといった感想があがっていました。

また、「学校対応の際、展示品を子供に持っていかれたこともありまして…」といった過去のガイドであったエピソードなどもお聞きすることができ、参加者内で学校対応の難しさを共感する声もありました。

見学後は、団体や学校対応のやり方や自主活動のあり方といったボランティア活動の現状や課題を話し合いました。課題では、受け入れ団体の人数が多い場合、当日参加できるボランティア数が少ないと対応できなくなってしまうことなどが議題にあげられた一方で、来館者が少ないためガイドできる機会が少ないといった意見もあげられました。自主活動については、各館での活動内容を紹介し合い、今後の自主活動の可能性を追求できた良い機会であったと思います。

今回の交流会を参考に、みなとぴあのボランティア活動もよりよいものにしていけたらと思っています。



ご案内の様子



ボランティアさん手作りの竈



交流会の様子

1/12 旧新潟税関庁舎再公開イベント

1月12日（土）に、旧新潟税関庁舎の再公開を記念して、イベントを開催しました。この日は、塔屋見学をはじめ、餅つきや常設クイズラリー、体験プログラムなどを行い、多くのボランティアの皆さんにご協力いただきました。

イベントは、旧税関庁舎内でのオープニングセレモニーからスタート。中原八一市長にもお越しいただき、鏡開きなどに参加していただきました。その後、塔屋見学会が行なわれました。再公開後初とあってか、開始早々整理券を求めて長蛇の列ができるほど大反響でした。また、参加者には、ボランティアの加藤厚司さんに制作していただいた税関ストラップを参加者にプレゼント。受け取った多くの方が喜んでおられました。

本館内では、毎年恒例の餅つきが行われました。今回は3回開催しましたが、多くの方にお越しいただいたおかげで、すべての回で餅があつという間になくなってしまいました。子供さんたちには、餅つきを体験していただき、大きな杵を持ち上げて一生懸命お餅をつく姿に、会場からは「よいしょ」という掛け声が飛んでいました。

常設クイズラリーでは、時代衣装を着たボランティアがお客さんをお出迎え。クイズラリーを通して、新潟の歴史に興味をもっていただけたのではないかと思います。

体験プログラムでは、旧税関庁舎をモチーフにしたペーパークラフトと砂絵を行いました。参加してくださった方は、様々な色合いでオリジナリティあふれる旧税関庁舎を制作していました。

来館者も多く、また幅広い世代に旧税関庁舎の魅力を伝えることができたイベントでした。ご協力いただき、ありがとうございました。



塔屋見学の様子。
諸橋絢一さんに、中原市長をご案内いただきました。



体験の様子。
こちらも賑わっていました！



餅つきの様子。
人が多く、スタッフも大忙しでした！

1/27 新年会

1月27日（日）に、新年会を開催しました。今回は、幹事さんが全員女性ということで、少しおしゃれな場所にとの提案から、アートホテル内のレストラン「彩巴」さんを会場に行いました。会の進行はボランティアの関根あずみさん、最初の挨拶は小林副館長に務めていただきました。

今回の新年会は、会場がホテルのレストランということで、飲み物は各自取りに行くようなスタイルでした。それもあってか、多くの方が積極的に席を移動してボランティア同士での交流を楽しんでいたように思います。また、お話の中では、今後やってみたい活動を提案してくださった方もおり、来年度も楽しいボランティア活動を作り上げていけるのではないかと思います。

参加して下さったみなさま、また準備をして下さった幹事のみなさま、ありがとうございました！



**小林副館長の挨拶で乾杯！
今回は 21 名の方にご参加いただきました！**



ボランティアの話以外にも、私生活や趣味の話など様々な話題に花を咲かせていました！



席は毎回恒例のくじ引きで決めましたが、今回は女性が一部に固まるような配置に！女子会のような空間ができていました。

2/16～新規ボランティア研修はじまりました！

2月16日から新規ボランティア研修がはじまりました。今回、説明会にご参加いただいたのは15名。研修中も、職員や現役ボランティアさんに積極的に質問し、知識を深めていました。勉強熱心で活気あふれたみなさんです。新たなメンバーを加え、さらに盛り上げていけるのではないかと思います、楽しみです！

研修には、現役ボランティアさんにもご協力いただきました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。



「みなとびあ春の税関まつり」の準備、進んでいます！

4月13日（土）に、新潟税関支署さんとみなとびあボランティアが一体となり、「みなとびあ春の税関まつり」を開催します。新潟税関支署さんでは、麻薬探知犬のデモンストレーションや監視艇「つばさ」や検査車両の公開など、さまざまな催しを行ってくださいます。一方、ボランティアでは敷地スタンプラリーや体験プログラム、旧税関カフェの開催を予定しています。現在、幹事さんを中心に準備中です。参加して楽しめるイベントばかりで、また現在の税関のことも学べます。是非、お越しください。



ボランティア木村郁子さんが、明治期の税関職員の衣装を調べて再現してつくってくださいました。



ボランティア加藤厚司さんがつくってくださったストラップ。今回は、明治時代を象徴する人力車がモチーフです。旧税関カフェでプレゼントします。

【編集後記】

今回は、2018年度後期の活動を振り返りました。今年は、戊辰戦争から150年、開港150年の前年という節目の年であり、本館では旧新潟税関庁舎再公開も行いました。このような背景も踏まえて、みなさんのご協力のもと、今年ならではのボランティア活動を展開できたのではと思います。改めて、ありがとうございました！（鈴木）

2018.6.15 現在

みなとびあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、まもなく開港150周年を迎える新潟の街をみんなで盛り上げていこう！という事業です。

「みなとびあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体のみなさんからご協賛をいただいています。

